

科目名	知的財産法
	知的好奇心を満たす「知的財産制度」
教員名	杉山 務

### 【授業の内容】

特許，実用新案，意匠，商標，著作権などの知的財産制度全般についてその基礎を学びます。

### 【到達目標】

知財に関する話題に参加し，ある部分については説明し，意見を表明できるようになり，実務の場で生じる種々の知財関連問題への対処が，専門家と協力して対応できるようになります。

### 【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション，知的財産制度概要
- 第2回 発明とは何か。
- 第3回 特許権を取るための要件は。産業の発達に貢献，新しいこと
- 第4回 重要な特許要件：進歩性，先願，特許の対象外のもの
- 第5回 特許を受けることができる者は。発明者，冒認，職務発明
- 第6回 特許出願，審査
- 第7回 ☆ 特許情報調査の実践 I P D L利用
- 第8回 特許審判とはどのようなものか。効果確認1
- 第9回 権利活用：自己実施，実施権設定，法定実施権，裁定実施権
- 第10回 特許権侵害，特許権の制限
- 第11回 特許権侵害に対する抗弁とは何か。
- 第12回 著作権法：著作物とは何か。
- 第13回 著作物の例示と二次的著作物
- 第14回 著作者，職務著作
- 第15回 著作権の内容，支分権，保護期間
- 第16回 著作権制限：権利者の許諾を得ずに利用できる場合とは
- 第17回 著作者人格権：公表権，氏名表示権，同一性保持権
- 第18回 著作者の人格的利益の保護 効果確認2
- 第19回 意匠制度：意匠とは何か
- 第20回 意匠登録要件，出願，審査・審判
- 第21回 意匠権とその行使
- 第22回 商標制度：商標とは何か，登録要件
- 第23回 ☆ 商標検索 I P D L利用
- 第24回 登録できない商標
- 第25回 商標登録出願，異議申立，審判
- 第26回 商標権，権利侵害，抗弁 効果確認3
- 第27回 ☆ 地域団体商標，品種登録制度
- 第28回 不正競争防止法
- 第29回 ☆ パリ条約とPCT：国際的な制度
- 第30回 まとめとして，全体の確認

☆ 記号は，テキスト外の内容

### 【授業の進め方】

テキストを利用し質問を交えながら進行

### 【教科書(必ず購入すべきもの)】

茶園成樹編「知的財産法入門」2013/4/5(有斐閣) ¥2,730

### 【参考図書】

Web：平成26年度知的財産権制度説明会(初心者向け)テキスト  
[http://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h26\\_syosinsya.htm](http://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h26_syosinsya.htm)

### 【具体的な評価方法・基準及び評価比率】

定期試験 50% 授業内小試験 20% レポート・課題 20% 受講態度 10%

### 【履修上の心得】

法律を覚えるよりも使えるようになるために「なぜ」という疑問を常に念頭に置いて受講

**【科目のレベル、前提科目など】**

知財入門で「知的財産管理技能検定」の3級合格レベルを想定

**【備 考】**

国家試験である「知的財産管理技能検定」にチャレンジし、更に、知財の専門家を志し弁理士試験にチャレンジするのもよろしいでしょう。